

■水と緑が魅せる心豊かな庭園都市岡山 市。この街の正月三箇日は、山陽路の陽の 字ごとく、太陽の光が満ち溢れるほどの 活気があります。総社へ向かう LRT は満 席です。表町で商売を営む宇喜田さん一 家は近年毎年、LRT 吉備線で商売繁盛で 有名な日本三大稲荷の '最上稲荷' へ初詣 に出掛けられます。

「本当に LRT は便利じゃぁ。電車は次々 きょうるし、備中高松駅まで行きゃぁ、前 にバスが待っとるんじゃから。数年前ま では初詣はいつも車だったんじゃぁ。国 道180号線は渋滞しょうるからイライ うしていつも正月から車の中で喧嘩ばか りしょうた。」そう言って笑顔で備中高松 駅を下車し、駅前から出発する接続バス に乗り換え、最上稲荷へ向われました。

■LRT は子供達にも大人気です。吉備津 駅で我々が休憩をしていた時の事です。 吉備津神社の方から、青い松並木の間を 一人の少年が走って駅に駆け込んで来た ので、次のLRTが来るまでのわずかな 時間に話を聞くことが出来ました。彼は 将来地元プロサッカーチーム 'ファジア ーノ岡山'でプレイする事が夢だそうで す。「今から LRT に乗って、ファジアーノ の天皇杯決勝戦の応援に桃太郎スタジア ムに行くんじゃぁ。決勝は東京の国立競 技場で試合じゃから、桃太郎スタジアム のオーロラビジョンでの応援にみんなが 集まるんよ。桃太郎スタジアムで試合が ある日はいつもLRTで行きょうる。だ ってファジアーノもLRTもぼっけぃか っこええがぁ。」 我々が5年前訪れた時は まだ大きなディーゼルカーが 1 時間に 1 本か 2 本走っていた吉備線。今ではLR Tと呼ばれる次世代型路面電車が、次か ら次へとやって来ます。そういった光景



お正月にちょっと、タイムトラベル!!

・「LRT が運ぶ新桃太郎伝説」

Text by 安藤

ひと



イラスト / 白井崇裕

も、のどかな古代ロマン溢れる吉備路に・ 溶け込んできました。

■市内中心部も活気に満ち溢れていま ® を手渡してくださったのはこの朝市を す。近年、直島や犬島行きの観光船の出・20年近く続けられているという池田さ 入りで再び賑わいを取り戻した'京橋』んです。「岡山はええでぇ。気候には恵ま 港'。「そりゃぁ。橋が出来ても船がええ。れとるし、食べものもおいしい。今日は わぁ。わしらいうても瀬戸内の人間じゃ 正月じゃから面白れぇ所があるでぇ」と けぇ、船に乗るだけで、ぼっけぇワクワ・池田さんに紹介していただいたLRT クするんじゃぁ」そう豪快に笑い飛ばし。 終点の岡電東山電停すぐの東山公園に た旦那衆達を乗せ、正月ならではの金比・向かうことにしました。 羅参り多度津港行きの船が満員で京橋●■岡山が生んだ横綱、'常の花' の凱旋巡 下手から出港して行きました。その港の・業がかつて東山電停の前にあった娯楽 上手では朝市が賑わっています。所狭し。施設'偕楽園'で行われた事にあやかり、 と岡山名産の牡蠣や瀬戸内の魚介類は • 近年正月には東山公園にてちびっこ相 もちろんの事、太平洋からの鰹、日本海・撲大会が行われているのです。かつて猿 からの松葉蟹、そして西都山口の下関か、山のあった場所に土俵が設けられ、その らはふぐと、東西南北から集まった新鮮。周りには大会に参加するちびっこ達の

橋は今も昔も物流の中心で、情報の発信 基地じゃぁ。」そう言って暖かいうどん

な品がずらりと並んでいます。「備前京 ● 名前を書いたのぼりがはためき、応援の

※LRT 次世代型路面電車。歩行者中心の街を取り戻す仕掛けとして 注目されている新しい路面電車。

RACDA 事務局

〒700-0823 岡山市丸の内 1-1-15(禁酒会館 3F) TEL/FAX 086-232-5502 E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp 近未来日本紀行 ~ お正月にちょっと、タイムトラベル!!

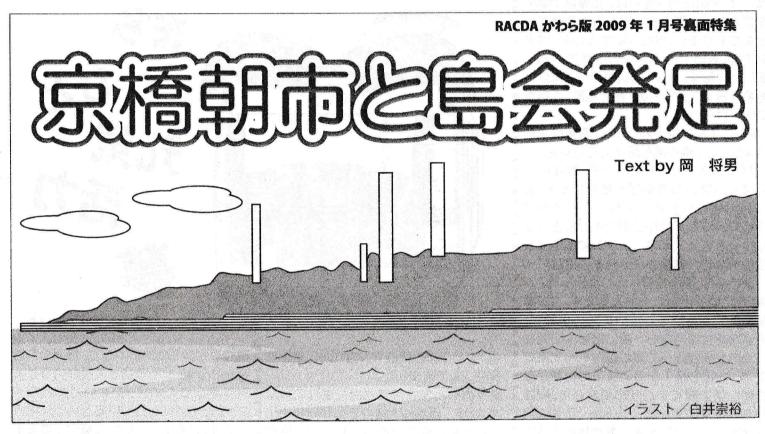
・「LRT が運ぶ新桃太郎伝説」

拍手が鳴り響き、とてもほほえましい光。毎日が楽しゅうなったわ」と笑顔で話か。猿・キジがお互いを尊重し合い、宝物を 景です。わが子を応援している母親が「う・けてくれました。LRTの導入により、・分け合う事が出来る英雄桃太郎なので ちらは総社から来たんじゃけど、LRT に ● 列車の本数が増え、お互いの街を行き来 ● す。LRTは、沿線の全ての「まち」・「み 乗ったらそのまま寝とっても東山まで来。する人が増えた結果、双方の街に発展を。ち」・「ひと」に「元気」・「活力」・「夢」と れるで、ぼっけえ便利じゃぁ。私は総社で

むたらしたのです。 ボランティア活動をしょうるんじゃけ● ■私達が教わった桃太郎伝説は、桃太郎 ● うなのです。まさしく LRT が運ぶ新桃 ど、LRTが出来てから、岡山市内の人が。が鬼を退治し鬼ケ島から宝物を持って。太郎伝説の始まりです。 どんどん手伝いに来てくれるんよ。この。帰ったという物語ですが、桃太郎伝説に 歳になって岡山市内の友達が増えたし、● 例えるならば、LRTは桃太郎・鬼・犬・●

いう宝物を運ぶ事が出来る重要インフ

この話は、創作原稿です。



昨年10月、瀬戸内の島々交流 協議会(島会)が発足した。後楽園・ 京橋から旭川を下って児島湾に入 り、犬鳥、豊島、直島などから高松 にかけての島々を結び、現代アー トをテーマに新たな文化交流を行 おうというものだ。直島、犬島には 岡山のベネッセが現代アートの美 術館を作っており、直島はフラン スのミシュランという旅行雑誌で 最高級、三ツ星の評価を受け、年間 28万人が訪れるまでになった。 岡山では後楽園が三ツ星認定にな っており、最近フランス人観光客 が激増している。

岡山は吉備の国のころから瀬戸 内海の交通に支えられて繁栄して ♪ きた。岡山城ができると、京橋が架 橋され、岡山城下町は京橋を起点 として形成された。明治になっ て、瀬戸内海に汽船が走るように なり、物資は京橋から岡山市中に 運ばれた。京橋が最も栄えたの は、山陽鉄道が完成し、京橋~三 蟠~高松の四国連絡ルートが成 立してからだ。今年生誕120年 になる内田百閒はこの当時の京 橋の繁栄の模様を語っている。

京橋には戦後も汽船が入港し、 小串行や出崎行が就航していた。 昭和61年には国鉄ホバークラ フトの高松就航が検討されたこ ともある。

京橋は岡山のまちづくりのへ その位置にある、ここに賑わいを 作れば岡山が元気になるとして

企画されたのが京橋朝市なので ある。その朝市も今年は20年目 の節目を迎えた。そこで京橋朝市 実行委員会やRACDAなどが 中小となって島会を発足させ、岡 山の元気を作っていこうと、これ から様々なイベントや企画を行 っていく予定である。まずは京橋 から犬鳥、直島への直通航路を視 野に入れながら、ツアー船を運航 し、京橋朝市でも現代アートイベ ントを企画しようと思う。来年は 「瀬戸内国際芸術祭」が直島を中 心として開催される。我々の心の ふるさとである瀬戸内海をもっ と身近なものにしていきたい。